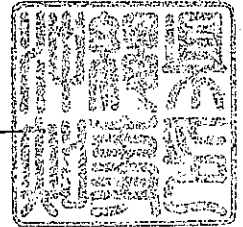


知 基 第 5 号
令和5年6月9日

内閣総理大臣
岸田 文雄 殿

沖縄県知事 玉城 デニー



嘉手納飛行場におけるF-22戦闘機等の暫定配備について（要請）

嘉手納飛行場を巡っては、昼夜を問わないエンジン調整や訓練、外来機の度重なる飛来に加え、パパループの一時使用など、負担軽減と逆行する状況にあると言わざるを得ません。

こうした中、昨年11月からは、同飛行場のF-15戦闘機の退役に伴うF-22戦闘機等の暫定配備が始まりました。嘉手納飛行場に関する三市町連絡協議会によれば、F-22戦闘機等が同飛行場へ飛来して以降、常駐機や外来機が住宅地上空を繰り返し飛行する運用が繰り返され、令和5年1月30日には同飛行場周辺で117.9デシベルの騒音を記録するなど、100デシベルを超える騒音が幾度も発生しております。

また、3月には、特に騒音が激しいとされるF-35A戦闘機12機が、4月から5月にかけては、F15E戦闘機24機がローテーション展開に伴い同飛行場に飛来しております。

これまで、県として、あらゆる機会を通じ、同飛行場における航空機騒音をはじめとした負担軽減を日米両政府に対して粘り強く働きかけてきたところですが、このような運用は、周辺住民へ耐えがたい航空機騒音被害を与えるものであり、周辺住民の更なる基地負担増大につながるものです。

航空機の運用にあたっては、周辺住民の生活環境に配慮し、騒音軽減に努めるべきであることから、下記のとおり要望しますので、特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

記

- 1 嘉手納飛行場への外来機の飛来制限を実施すること。
- 2 同飛行場における航空機騒音規制措置を厳格に運用するとともに、同措置の運用状況について県及び周辺市町村へ報告を行うよう米軍に働きかけ、日米合同委員会においてその実施に伴う効果について検証を行い、結果を公表すること。
- 3 住宅地上空の飛行及び夜間の訓練飛行を回避するための対策を講じること。また、夜間の航空機騒音による健康への影響を調査し、同調査を踏まえた環境基準の設定など適切な措置を講ずること。

知 基 第 5 号
令和5年6月9日

内閣官房長官
松野 博一 殿

沖縄県知事 玉城 デニー



嘉手納飛行場におけるF-22戦闘機等の暫定配備について（要請）

嘉手納飛行場を巡っては、昼夜を問わないエンジン調整や訓練、外来機の度重なる飛来に加え、パパループの一時使用など、負担軽減と逆行する状況にあると言わざるを得ません。

こうした中、昨年11月からは、同飛行場のF-15戦闘機の退役に伴うF-22戦闘機等の暫定配備が始まりました。嘉手納飛行場に関する三市町連絡協議会によれば、F-22戦闘機等が同飛行場へ飛来して以降、常駐機や外来機が住宅地上空を繰り返し飛行する運用が繰り返され、令和5年1月30日には同飛行場周辺で117.9デシベルの騒音を記録するなど、100デシベルを超える騒音が幾度も発生しております。

また、3月には、特に騒音が激しいとされるF-35A戦闘機12機が、4月から5月にかけては、F15E戦闘機24機がローテーション展開に伴い同飛行場に飛来しております。

これまで、県として、あらゆる機会を通じ、同飛行場における航空機騒音をはじめとした負担軽減を日米両政府に対して粘り強く働きかけてきたところですが、このような運用は、周辺住民へ耐えがたい航空機騒音被害を与えるものであり、周辺住民の更なる基地負担増大につながるものです。

航空機の運用にあたっては、周辺住民の生活環境に配慮し、騒音軽減に努めるべきであることから、下記のとおり要望しますので、特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

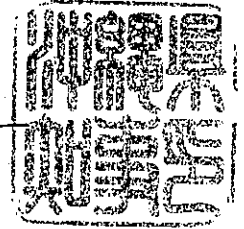
記

- 1 嘉手納飛行場への外来機の飛来制限を実施すること。
- 2 同飛行場における航空機騒音規制措置を厳格に運用するとともに、同措置の運用状況について県及び周辺市町村へ報告を行うよう米軍に働きかけ、日米合同委員会においてその実施に伴う効果について検証を行い、結果を公表すること。
- 3 住宅地上空の飛行及び夜間の訓練飛行を回避するための対策を講じること。また、夜間の航空機騒音による健康への影響を調査し、同調査を踏まえた環境基準の設定など適切な措置を講ずること。

知基第5号
令和5年6月9日

防衛大臣
浜田 靖一 殿

沖縄県知事 玉城 デニ



嘉手納飛行場におけるF-22戦闘機等の暫定配備について（要請）

嘉手納飛行場を巡っては、昼夜を問わないエンジン調整や訓練、外来機の度重なる飛来に加え、パパループの一時使用など、負担軽減と逆行する状況にあると言わざるを得ません。

こうした中、昨年11月からは、同飛行場のF-15戦闘機の退役に伴うF-22戦闘機等の暫定配備が始まりました。嘉手納飛行場に関する三市町連絡協議会によれば、F-22戦闘機等が同飛行場へ飛来して以降、常駐機や外来機が住宅地上空を繰り返し飛行する運用が繰り返され、令和5年1月30日には同飛行場周辺で117.9デシベルの騒音を記録するなど、100デシベルを超える騒音が幾度も発生しております。

また、3月には、特に騒音が激しいとされるF-35A戦闘機12機が、4月から5月にかけては、F15E戦闘機24機がローテーション展開に伴い同飛行場に飛来しております。

これまで、県として、あらゆる機会を通じ、同飛行場における航空機騒音をはじめとした負担軽減を日米両政府に対して粘り強く働きかけてきたところですが、このような運用は、周辺住民へ耐えがたい航空機騒音被害を与えるものであり、周辺住民の更なる基地負担増大につながるものです。

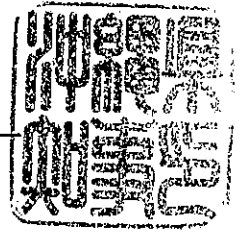
航空機の運用にあたっては、周辺住民の生活環境に配慮し、騒音軽減に努めるべきであることから、下記のとおり要望しますので、特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

記

- 1 嘉手納飛行場への外来機の飛来制限を実施すること。
- 2 同飛行場における航空機騒音規制措置を厳格に運用するとともに、同措置の運用状況について県及び周辺市町村へ報告を行うよう米軍に働きかけ、日米合同委員会においてその実施に伴う効果について検証を行い、結果を公表すること。
- 3 住宅地上空の飛行及び夜間の訓練飛行を回避するための対策を講じること。また、夜間の航空機騒音による健康への影響を調査し、同調査を踏まえた環境基準の設定など適切な措置を講ずること。

外務大臣
林 芳正 殿

沖縄県知事 玉城 デニ



嘉手納飛行場におけるF-22戦闘機等の暫定配備について（要請）

嘉手納飛行場を巡っては、昼夜を問わないエンジン調整や訓練、外来機の度重なる飛来に加え、パパループの一時使用など、負担軽減と逆行する状況にあると言わざるを得ません。

こうした中、昨年11月からは、同飛行場のF-15戦闘機の退役に伴うF-22戦闘機等の暫定配備が始まりました。嘉手納飛行場に関する三市町連絡協議会によれば、F-22戦闘機等が同飛行場へ飛来して以降、常駐機や外来機が住宅地上空を繰り返し飛行する運用が繰り返され、令和5年1月30日には同飛行場周辺で117.9デシベルの騒音を記録するなど、100デシベルを超える騒音が幾度も発生しております。

また、3月には、特に騒音が激しいとされるF-35A戦闘機12機が、4月から5月にかけては、F15E戦闘機24機がローテーション展開に伴い同飛行場に飛来しております。

これまで、県として、あらゆる機会を通じ、同飛行場における航空機騒音をはじめとした負担軽減を日米両政府に対して粘り強く働きかけてきたところですが、このような運用は、周辺住民へ耐えがたい航空機騒音被害を与えるものであり、周辺住民の更なる基地負担増大につながるものです。

航空機の運用にあたっては、周辺住民の生活環境に配慮し、騒音軽減に努めるべきであることから、下記のとおり要望しますので、特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

記

- 1 嘉手納飛行場への外来機の飛来制限を実施すること。
- 2 同飛行場における航空機騒音規制措置を厳格に運用するとともに、同措置の運用状況について県及び周辺市町村へ報告を行うよう米軍に働きかけ、日米合同委員会においてその実施に伴う効果について検証を行い、結果を公表すること。
- 3 住宅地上空の飛行及び夜間の訓練飛行を回避するための対策を講じること。また、夜間の航空機騒音による健康への影響を調査し、同調査を踏まえた環境基準の設定など適切な措置を講ずること。